

第2回「まちに繰り出し物語を発見しよう」を開催しました！

「新百合ヶ丘駅北側地区まちづくりの基本的考え方」をもとに、新百合ヶ丘の公共施設のあり方を考えるワークショップの第2回を2026年9月12日（土）に開催しました。本ワークショップは新百合ヶ丘の魅力を再発見し、多様な人々が共存する公共施設の将来像について検討するものです。「つむぐ、つなぐ、新百合ヶ丘のこれから。～わたしたちの記憶を、未来のシビックゾーンへ～」をテーマに、参加者の皆様の記憶を「まち」の記録へと結びつけ、これからの「公共」のあり方について検討することを目的としています。第2回の今回は37名の方にご参加いただきました。

第2回の目的と内容

全3回のうち第2回に当たる今回は、まちに存在する様々な物語を再発見することを目的に施設の見学やまち歩きを実施し、施設の様子や人々の過ごし方を観察しました。はじめに既存の区役所・市民館・図書館についての概要や他の自治体での先進事例についてレクチャーを受けたのち、グループごとに三つのコースに分かれて90分ほどまち歩きを行いました。まち歩き終了後は、まち歩き中の気づきを付箋に書き出し、ラフマップへと整理しました。

既存施設と先進的な公共施設
事例についてのレクチャー90分間のグループでのまち歩き
(フィールドワーク)まち歩き中の気づきをまとめた
ラフマップの作成

まち歩きは三つのコースに分かれて行いました。各コースは区役所・市民館・図書館のうち二つと、南口のペDESTリアンデッキ・アートセンター・万福寺ふるさと緑地のうち一つで構成されています。今回のまち歩きはグループごとに自由に見て回ることを基本としていましたが、各公共施設では職員の案内のもと見学する時間を設け、バックヤードなどの日頃立ち寄ることの少ないスペースも見学することができました。今回の参加者の中には、まち歩きの対象となった施設をよく利用されている方もいらっしゃいましたが、日常生活ではあまり注目することのない側面に目を向けながら歩いたことで、新鮮な気持ちで見て回るすることができました。

コース1：区役所▷市民館▷ペDESTリアンデッキ

コース2：市民館▷図書館▷アートセンター

コース3：万福寺ふるさと緑地▷図書館▷区役所



まち歩きでの気づきの一部をご紹介します！

散策やつろぎやすい空間になるといい

ミニステージ（ミニホール）があると楽しい

音の出せるサークルの部屋が増えるといい

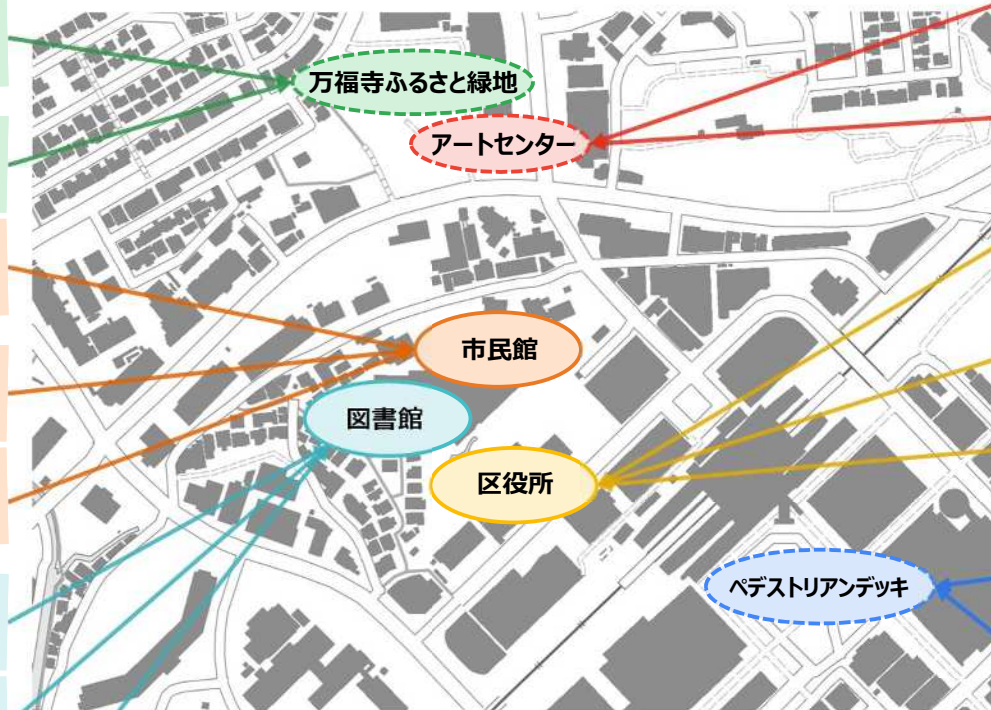
各サークルのやっていることが外からもっと見えると新メンバーも増えるかも？

もっと座るスペースが多いといい（カフェなど）

画一的な机の配置で交流したりくつろいだりできない

カフェで本を読めるといい

公園の中に図書館を作ってほしい



外の広場を利用してイベントなどをしてはどうか

市民館からアートセンターまでの間で動線が途切れているのでつながりが欲しい

区役所が迷路！
どのフロアにいるのかわからなくなる

母子相談室のフロアが暗い！子供が泣きそう

多目的ホールはもっと活用できそう！
外からの視認性をあげるべき

一般車で送り迎えがしにくい

雨にぬれずに歩くには下に降りる必要がある



ラフマップの作成では、まち歩き中に感じたことや「こうだったらもっといいのに」といった提案まで多くの気づきが共有されました。グループによっては模造紙が付箋でいっぱい埋まるほどの気づきが共有されましたが、ここではその一部をご紹介します。

第3回では、ラフマップとして作成した今回の地図を基に、各公共施設や新百合ヶ丘のまちの可能性について考え、「新百合ヶ丘・やりたいこと・マップ」を作成していきます！

第1回 「わたしとあなたの 物語を共有しよう」

2026年8月8日（土）

聞き書きを通じて、新百合ヶ丘での物語を共有し、新百合ヶ丘はどのようなまちが議論しました！

第2回 「まちに繰り出し 物語を発見しよう」

2026年9月12日（土）

グループでまちを歩き、施設やまちで感じたことを付箋に書き出し、ラフマップにまとめました！

第3回「未来への地図と 言葉をつむごう」

2026年9月26日（土）

まち歩きで得た知見を地図へ落とし込み、まちや新たな施設でどのようなことができるのかを考えます！